



発行所 東京都文京区千石
4丁目2番15号 〒112-0011
株式会社 建帛社
発行人 筑紫 和 男
電話 営業部 (03) 3944-2611
編集部 (03) 3944-2613
FAX (03) 3946-4377
https://www.kenpakusha.co.jp/
E-mail info@kenpakusha.co.jp
©建帛社, 2022

「スタンダード」としての 特別支援教育

一般財団法人特別支援教育士資格認定協会理事長

花 熊 暁



特別支援教育が二〇七
年に法制化されて十五年目
を迎え、ほとんどすべての
学校・園で、特別支援教育
の取り組みが行われるよう

になりました。法制化当初
には、特別支援教育はまだ
「障害」と結びつけられる
ことが多くありました。
しかし、取り組みがすす
むにつれて、障害の有無に
とられない、学校生活や
園生活に困難があるすべて
の子どものための支援へと、
対象が拡大されてきました。
そのことは、新しい学
習指導要領における指導・
支援の観点、聴覚言語障

害、ADHDといった「障
害別の支援」から、聞いて
理解することの困難、注意
の困難などの「困難さ別の
支援」に改められたことに
も表れています。
さて、こうした動向の中
で、注目すべき重要な点が
あります。それは、特別支
援教育の観点や方法論が、
学校教育全体(通常の教育
に大きな影響を与えている
ことです。

学校教育の歴史を振り返
ると、障害のある子どもた
ちの教育では、今日に至る
まで「標準的教育」という
言葉が使われてきました。
学校教育法第七十二条に
は、「特別支援学校では(略)
幼稚園、小学校、中学校又
は高等学校に準ずる教育を
施すとともに、障害による
学習上又は生活上の困難を
克服し自立を図るために必
要な知識技能を授けること
を目的とする」と規定され
ています。「標準的教育」と
いう語を巡っては多くの論
議がなされてきた歴史があ
りますが、基本的には、通
常の教育を「スタンダード」
とする考え方といえます。
こうした通常の教育スタ
ンダードの時代が長く続い
てきましたが、近年そこに
大きな変化が生じました。
例えば、二〇二一年一月の
中央教育審議会「令和の
日本型学校教育」の構築を
目指して(答申)では、教
師主体の学びから学習者主
体の学びへの転換を図り、
「個別最適な学び」と「協

残暑お見舞 申し上げます



静岡県伊豆市 達磨山

働的な学び」をめざすこと
と、「指導の個別化」と「学
習の個性化」を図ることが
示されています。本答申で
述べられている教育の方向
性は、子ども一人ひとりの
特性に応じた適切な学びを
めざしてきた特別支援教育
の方向性と通底するものと
いえるでしょう。

育の原点である」といわれ
てきました。通常の教育が
スタンダードの時代には、
それは一つのスローガンに
すぎませんでした。
ところが、いま、その言
葉が本心に力をもち、特別
支援教育の観点こそがスタ
ンダードであり、学校教育
のすべての場で、特別支援
教育の観点や方法論に基づ
く取り組みが求められる時
代になってきたのだと感じ
ています。

前述の検討会議ワークシ
ンググループでは、「特別支援
学校教諭免許状コアカリ
キュラム」が検討され、これ
まで各々に行われていた教
員養成大学・学部における
特別支援学校教諭免許状の
カリキュラムに統一性をも
たせる方向が示されました。
特別支援にかかわる教員
免許状については、特別支
援学校教諭免許状にとどま
らず、通級による指導の免
許状の必要性など、中長期
的に検討していくべき課題
があります。

障害の有無にかかわらな
い、子どもたち一人ひとり
のニーズにこたえ得る「適
切な教育」の実践と、それ
を担える教員の養成および
現職教員の研修が、いまほ
ど求められている時代はな
いと思います。

出版科学研究所によると
新型コロナウイルス感染症
のパンデミックとなった二
〇二〇年および二〇二一年
の日本の出版物の推定販売
額は、前年を上回る結果と
なった。年々販売額を伸ば
している電子出版を含めて
も、雑誌の売り上げ減が著
しく、出版物全体の売り上
げは減少を続けていただけ
に、コロナ下の「巣ごもり
需要」があったと考えられ
る。

二〇二一年の内訳でみる
と、電子出版が二七・八%、
紙の出版が七二・二%であ
る。さらに詳しくみていく
と、紙の出版の内訳は、書
籍が四〇・六%、雑誌が二
〇・五%、コミックが一・
〇%となっている。電子出
版は、電子コミックが全体
の二四・六%と出版の約四
分の一、電子出版の内の九
割弱を占めており、電子+
紙のコミックが出版市場全
体のシェア四割を超えてい

る。その売り上げ増が全体
を押し上げていることは間
違いないところであるが、
一方で、コミック、雑誌を除
いた紙の書籍のみの売り上
げも増加に転じた(ちなみ
に雑誌の売り上げはコロナ
下にあっても大幅に減少を
続ける結果となっている)。
コロナ前の二〇一九年の
紙の書籍全体の販売額は六
千七百二十三億円、それ
に対しコロナ下の二〇二〇
年は六千六百六十一億円、
二〇二一年は六千八百四億
円であった。二〇二一年は前年
をやや下回る結果であった
が、二一年は一九年の一〇
一二%である。紙の書籍
の売り上げが前年を上回る
のは、二〇〇六年以来、十
五年ぶりのことであった。

出版科学研究所は「児童
書や学習参考書などの伸長
に加え、返品率の改善、価格
の上昇」がその要因である
と分析している。少子化が
進行する中において、児童

コロナ下の出版界

書や学習参考書は毎年手堅
く売れている。特に児童書
にあつては、ベストセラー
となつて大部数を販売する
ヒット商品が、ここ数年相
次いでいることは大きい。
さて、このような中、弊
社も賛助会員である、出版
文化産業振興財団(JPIC)
をはじめとして、読書
推進運動協議会、日本図書
普及、本の日実行委員会
の四者合同主催により、「秋
の読書推進月間」が来月末
から開始される。これは、
業界を横断した新たな出版
界の取り組みである。

これまでも行われてい
た、十月二十七日の「文字・
活字文化の日」にはじまる
「読書週間」から十一月一
日「本の日」を経て、十一
月三十日「絵本の日」に至
るまで「秋の読書推進月
間」として位置づけるもの
である。「本を読む人は美
しい」というテーマを掲げ
て、各種イベントやプロ
モーションを展開する。
是非、書店に足を運んで
いただきたい。

基礎から学ぶ
栄養学 研究
論文の読み方・書き方から
科学的根拠に基づいた実践まで
栄養学研究における倫理方法、論文の探し方と読み解き
方、栄養学研究の実践方法、学会発表・論文執筆まで、基
礎から解説。科学的根拠に基づいた栄養学の実践について
も言及する。

管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリ
キュラム「栄養学研究」に対応。学部生・大学院生への学
位論文指導等のテキストにも好適。

9月末刊 B5 192頁
予備 3300円

食品物性と テクスチャー

食品の物理的性質、特に力学的性質に重点をおいて、基礎
概念と各食品の物性を解説。食品物性を物理化学的性質や
調理科学のみならず食品加工、食品開発、食品機能学でも
幅広く活用できる。

10月刊 A5・上製 240頁
予備 3080円

日本食品標準成分表(八訂) 分析マニュアル・解説

成分値の定量・策定に用いられた分析法を詳説。八訂成分
表に対応した最新版。
実際に分析にかかわった担当者による参考情報、操作の留
意点等の解説を付す。

9月末刊 B5 368頁
予備 9680円

ふくらみ加熱調理 ーコロケのはれっ ー ドーナツのきれっ

加熱すると膨らむ食品の表面にできる「きれっ(ひび割
れ)」。そのメカニズムとコントロール方法を様々な視点か
ら解明していく。

8月最新刊 四六 144頁
カラ一口絵 2頁 1760円

特別支援教育免許シリーズ

各巻B5判

特別支援学校教諭免許取得のための初体系的テキストシリーズ
シリーズ監修 花熊 暁 菊田知則・笠井新一郎・川住隆・宇高 良
特別支援教育概論 花熊 暁・川住隆 編著 9月末刊 240頁 3190円

視覚障害教育領域 見えの困難への対応

氏間和仁・永井伸幸 編著 272頁 3520円

聴覚障害教育領域 聞こえの困難への対応

宇高 良・長嶋比奈美 編著 160頁 2530円

知的障害教育領域 認知機能・知的機能の困難への対応

笠井新一郎・坂井 聡 編著 208頁 2860円

運動機能の困難への対応

櫻木暢子・笠井新一郎 編著 208頁 2860円

病弱教育領域 健康面の困難への対応

中野広輔・櫻木暢子 編著 192頁 2750円

合理的配慮 支援機器を用いた合理的配慮概論

金森克浩・大杉成喜 編著 208頁 2860円

特別支援教育概論

菊田知則 編著 208頁 2860円

聞こえの困難への対応

宇高 良・長嶋比奈美 編著 160頁 2530円

新刊専門書

(表示価格税10%込)

給食管理における 食品成分表の活用の課題

石田 裕 美

「日本食品標準成分表二〇二〇年版(八訂)」の公表から一年半ほどが経過した。今回の改訂では、エネルギー・産生栄養素である、たんばく質、脂質、炭水化物が組成に基づく値となり、これらの値を用いて算出されたエネルギー値が収載された。組成に基づく成分値中心の八訂成分表のエネルギー値は、一〇〇g当たりで七訂成分表と比較して約九一％、国民健康・栄養調査結果を再計算した結果としては、九二％程度の値となり、少なくなることもすでに報告されている。

給食施設では栄養管理を行う中で、提供する食事も喫食者も変わらないにもかかわらず、献立の栄養計算上のエネルギー値が少なく

なることに対して、どのように対応すべきか悩ましい状況にある。さらに、調理による成分変化を踏まえた献立計画や表示が、栄養管理上求められている。

従来、給食施設では、献立の栄養量の計算について、調理による成分含有量の変化を考慮せずに摂取量を評価してきた。これは、成分表では調理後の成分値の収載が少ないことに加え、栄養計算に用いる食品重量を、調理に必要な食材の量に統一して用いるという、業務効率上の理由による。

しかし、成分表の調理後の食品収載数は徐々に増え、調理による成分変化を考慮して摂取量を評価することが可能になってきた。調理による成分含有量の変化を

二〇二一年八月二十四日から九月五日まで行われた東京二〇二〇パラリンピック大会は、コロナ禍にもかかわらず、一六一か国、約四千四百人の選手が募り実施されました。

今回の大会では世界記録が一五八個記録され、世界はもろんのこと日本国内でも、障がい者スポーツへの関心はさらに拡大したといえるでしょう。

ところが、日本における「障がい者スポーツ」としての道のりは、決して平坦なものではありませんでした。障がいのある人々の行うスポーツは、戦後長らく社会福祉施策の一環としてのリハビリテーションという位置づけにあり、当事者もその関係者も限られていました。

障がい者スポーツが、すべての人々を対象にしたスポーツとして、およびその存在を現したのは

考慮するようになると、特にビタミンやミネラル類は、計算上の値は減る場合が多くなる。また、献立の計算上、給与栄養目標量を満たさない食事、不足をきたす可能性のある食事、となることに、どう対応すべきか悩ましい状況がある。

計算上、食品の量を増やして帳尻をあわせたととしても、食べ残しを増やすことになるかもしれない可能性、食材料費が増える可能性に対して、本当にその必要性があるのかを、正しく評価判断しなければならぬ。

また、その結果を関係者や給食利用者から理解を得る説明が求められる。いづれにしても、成分表を活用した計算値は、あくまで推計値であり、実際の食事に含まれ、かつ摂取される量と一致しているとは限らない。

成分表収載食品の栄養成分値は一食品一標準成分値であって、実際に摂取するエネルギーや栄養素量には幅がある。とはいえ、確からしい値を用いるよう、計算方法を標準化していくことは必要である。

給食施設では、業務を効率的に行うために、発注と栄養計算のための食品を同一に扱うコンピュータシステムが構築されている。今後は、発注食品が、栄養計算のための食品に自動変換、例えば、生鮮食品が調理後食品に自動変換されるような新たなプログラムの開発も必要であろう。

大量調理の工程では様々な要因で献立上の数値と実際に食品を扱うことはできない。また、調理条件によって調理による成分変化のありようも一定ではない。

食事の栄養計算のための合理的な方法を検討するためには、大量調理や新たな調理システムでの調理による成分変化の研究と給食の利用者の栄養状態の評価の両方からの研究をすすめていく必要がある。しかし、どんなに研究が発展したとしても、常に計算された値がもつ限界を理解して、給食施設での栄養管理を行っていくこともまた不可欠である。

(女子栄養大学教授)

新型コロナウイルス感染症 の経験と保健科教育

植田 誠 治

保健の見方や考え方を身につけておく必要性を、いまほど切実に感じたことがあったであろうか。

この文章を書いている二〇二二年六月は、二〇一九年からはじまった新型コロナウイルス感染症の世界的

な姿そのものであることを認識しなければなりません。障がいのある人々は、あらゆる機会を通して、その個性としての特徴を活かすことで、社会活動場面に新たな可能性を開拓、発展させていくキーパーソンになるでしょう。そして、障がいという個性は、経済、社会、文化、政治等の様々な側面に新たな場面を生み出し、そこでハイブリッドな現象を起こす源泉になると考えられます。

その現象は、いずれ、より深遠な思想・哲学を私たちの目の前に示し、将来のまだみぬ新しい困難を切り開く際の原動力になるでしょう。

こうした連続するたゆみない取り組みが、共生社会を重層的に拡大していく唯一の、そして最短の方法なのだと考えられます。(東海学園大学教授)

教科書採用特典として 図表データの提供を開始しました

対象書籍を20部以上ご採用の先生方に向け、特典として教科書中の図表データをダウンロードいただけるようになりました。当社HPよりお申し込みください。

【対象書目】Nブックスシリーズ・カレントシリーズ・特別支援教育免許シリーズほか

*対象書籍は今後も拡充してまいります。



拡大への対応が、収束への希望がふくらんできてはいるものの、依然として続いている。このような状況はこれまで以上に、健康問題を地球的規模で考えること、克服に向けての幅広い連帯、行動様式の新たなあり方など、様々な課題と検討の必要性を投げかけた。情報化が進化した今日では、多くの健康に関する情報が飛び交う中で、何が正しいか、何が正しくないのか、自分にとって何が必要で、何が必要でないのか、というように情報の取捨選択能力を高めておく必要に迫られている。これらは感染症にとどまらず、生活習慣病や精神疾患、性の問題や安全にかかわる問題などの健康課題に対しても生じている。保健の見方や考え方を身につける保健科教育の充実があらためて求められているのである。

保健科教育は、児童生徒が生涯を通じて健康で豊かな生活を送るうえでの基礎を培うものである。諸外国と比較すると、「保健」が小学校から高等学校まで系統的に教育課程に必須のものとして位置づけられ、かつ教科書も作成されているという国は珍しい。

例えば、感染症に関する内容は、一貫して基本的内容の一つとして取り扱われてきている。感染症に関連する主体・病因・環境という三要因、あるいは感染源

を断つ、感染経路を断つ、抵抗力を高めるといった基本的な保健の見方や考え方が、概念が教えられてきているのである。

このことは、新型コロナウイルスに感染するリスクを下げるため、人々の冷静な判断や行動選択にどう影響したであろうか。単純な評価は適切ではないが、このような状況下での人々の行動は、保健科教育のこの感染症に関する内容が、マクロなレベルで身につけているかどうかを測る指標とみることもできる。

新型コロナウイルス感染症に関する情報が様々なメディアを介して発信されており、我々はそれらに對してどう向き合うことができたであろうか。今回のこの状況は、保健科教育に対して、課題を突きつけた。保健科教育においては、健康情報リテラシー、すなわち健康に関する情報を、入手したり、評価したり、取捨選択したり、活用したりする能力を高めるための内容が取り扱われているものの、不十分である。ただし、かつて「雨降り保健」(雨が降ると体育ができないので保健の授業をする)と揶揄された保健科教育も、今日では大きく異なり進化を続けている。真に児童生徒の生涯を通じた健康で豊かな生活につながる質の高い授業実践がさらに必要となっている。

（聖心女子大学教授・副学長）

新刊教科書

(表示価格税10%込)

スタディ生 化学

渡邊敏明 編著 B5 264頁 3630円

中学校・高等学校 保健科教育法

植田誠治・杉崎弘周 編著 B5 144頁 2310円

コンパス 教育相談

住本克彦 編著 B5 144頁 2090円

福祉施設実習テキストブック

栗山宣夫・小林 徹 編著 B5 168頁 2310円

子育て支援演習

太田光洋 編著 A5 160頁 1980円

福祉ライブラリ 権利擁護と法

菅原好秀 著 A5 336頁 3740円

新医療秘書実務シリーズ 医療秘書教育全国協議会 編 新刊を含みシリーズを刷新!! 各巻B5判

①三訂 医療秘書

寺田智昭・大塚 映 共著 144頁 2310円

②改訂 病院のマネジメント

藤井昌弘・岸田敏彦 共著 200頁 2750円

③三訂 医療情報管理

野田雅司・伊藤敦子 共著 128頁 2310円

④三訂 医療関連法規

清水祥友・淡島正浩 共著 232頁 2860円

⑤社会福祉関連法規

出嶋陽介・安部正美 共著 168頁 2530円

⑥D P C の 実 際

秋山貴志・林田朋子 共著 144頁 2310円

改訂教科書

(表示価格税10%込)

Nブックスシリーズ 各巻B5判

新版 社会福祉概論 (第3版)

金子光一 編著 184頁 2640円

新版 食品学Ⅱ (第2版)

田所忠弘・安井明美 編著 232頁 2970円

改訂 食品機能学 (第4版)

青柳康夫 編著 192頁 2530円

五訂 食品加工学

北尾 悟・鍋谷浩志 編著 232頁 2970円

四訂 基礎栄養学

木元幸一・鈴木和春 編著 224頁 2860円

五訂 応用栄養学 (第2版)

津田博子・麻見直美 編著 280頁 3300円

六訂 公衆栄養学 (第2版)

井上浩二・小林夏夏 編著 232頁 2970円

新版 給食経営管理論 (第2版)

岩井 達・名倉秀子 編著 248頁 3190円

カレントシリーズ 各巻B5判

改訂 基礎栄養学

木元幸一・中島 滋 編著 216頁 2860円

改訂 公衆栄養学 (第2版)

由田克士・荒井裕介 編著 224頁 2970円

新版 公衆衛生学実験・実習

角野 猛・岸本 満 編著 B5 160頁 2420円

持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けての食品加工学への期待

鍋谷 浩志

現状における食品加工学への期待として、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成への貢献があげられると考える。SDGsは、持続可能な世界を実現するための十七のゴールから構成され、その中には、食品産業と直接的に、あるいは、間接的にかかわる課題が数多く示されている。

ご存じの通り、世界の人口は増え続けており、間もなく八十億人に達しようとしている。この膨大な人口を支えていくためには、育種・栽培技術の発展による食料増産だけでは限界がある。食料資源を効率よく、有効に活用するための食品加工・流通・利用技術の

役割は、ますます大きくなるものと予測される。このような観点からすると、まずは、有機質資源の総合的利用が重要な研究課題といえる。すなわち、農産物のすべての成分、そして、すべての部位をそれぞれの特徴に応じて効果的に活用していく食品加工技術を開発することが重要であると考ええる。原油価格の高騰やウクライナ情勢の影響により、世界的に食料資源の安定的な確保が危ぶまれる状況となりつつある中、その重要性はさらに高まるであろう。

近年、植物性たんぱく質の利用がにわかに脚光を浴びはじめているような感が

ある。植物性たんぱく質を原料としたハンバーガーなどの話題が、新聞やテレビでも頻繁にみられるようになってきた。人類の持続的な発展の実現を考えたとき、植物性たんぱく質を動物性たんぱく質に変換して利用するのではなく、植物性たんぱく質をそのまま利用するということは、食料資源の効率的利用につながる非常に有効な手段である。そのために、植物性たんぱく質を畜肉と類似した味と食感を有する食材に加工する技術を開発するということは、とても重要な研究開発課題である。ただ、研究開発として取り組むべきことはほかにもあると考える。我が国は、その長い歴史の中で、植物性たんぱく質を有効に活用することのできる食文化を発達させてきた。だいたに代表される植物性たんぱく質資源を、おいしい食品に効率的に加工し、利用するすべを、私たちはその食文化という形の財産としてもっている。この食文化の優位性を、栄養摂取、嗜好への影響そして生体調節機能の面から明らかにし、その成果を世界に発信していくことも、植物資源の有効活用、さらには人類の持続的発展に大きく貢献する取り組みとなるであらう。

私たちには、持続的に発展可能な世界を実現し、子どもや孫たちの世代に引き継いでいく責任がある。このため、食品加工学の分野でも、持続的に発展可能な世界の実現という観点にもポイントを置きつつ、おいしくて安全な食品の安定供給に資する研究成果を創出し、健康で豊かな食生活の実現に貢献していくていただきたいと願う。

(東京家政大学教授)

難聴児や発達障害児に構音訓練を実施する際のヒント

能登谷 晶子

子どもの発音(以下、構音)に発達していく。おおよそ五〜六歳ころには日本語の音の誤りに気づくことがよ

くある。口腔の構造に特に異常がなく、難聴もないにもかかわらず、子どもが発する音に誤りがある状態を機能性構音障害という。

構音障害」は、これまでの構音障害に関する書籍ではあまり多くのページが割かれなかった、発達障害や難聴児の構音訓練方法の紹介と、その経過も時経列で示している。臨床現場でかわる患者さんには、難聴に自閉スペクトラム症、口蓋裂に知的障害を合併している例なども珍しくない。その中で音声言語(話す)を用いて生活する人たちへの構音訓練・指導をどのように行うかについて、参考にしていただきたい。

特に近年、新生児聴覚スクリーニングシステムが充実してきており、補聴器を早期から装着でき、人工内耳の装用も一歳ころから可能になってきている。また、手話ではなく、健聴者と同様に口話で会話できる難聴児も増えてきている。その場合には、聞き手にわかってもらう構音能力が必要であり、構音訓練の果たす意義は大きい。

構音がほぼ完成されるといわれている。すなわち、就学前には、ほぼ正しい構音が出そうのである。四歳ころから、ひらがなの読みに関心をもちはじめることが多いせいか、そのころに親御さんが「かめ」を「ため」、「さかな」を「たかな」と発する我が子の構音の誤りに気づくことがよ

性、米国の雄大な自然と風土・文化に触れることで、学生たちの心に自我が目覚めます。短期間ではありますが、現地関係者、大学関係者の方々のサポートにより、密度の濃い時間を過ごし、学生は、英語力があればよかったとの悔しさがあるものの満足感一杯の笑顔で帰国します。この研修旅行は、学生たちの将来に良い影響を与えていることは確かなようです。さて話は変わりますが、筆者が副会長を務める日本食生活学会(https://jshs.jp)について、この紙面を借りて紹介させていただきます。日本食生活学会は様々な角度から食、栄養、生活を俯瞰的に考えることができる学会です。創立三十周年を超えるさらなる発展をめざしています。多くの方々に参加いただき躍動感あふれるものになることを期待しています。

(聖徳大学教授・日本食生活学会副会長)

管理栄養士養成校のアメリカ西海岸研修旅行

佐々木 弘子

筆者が所属する聖徳大学の人間栄養学科では、二年生の二月に八泊十日でアメリカ(米国)西海岸研修旅行を行います。管理栄養士のたまごが、医療職としてスタートした米国の登録栄養士(Registered Dietitian: RD)の活躍から学ぶものです。また、多民族国家である米国が日本とはまったく異なる社会であることを体験し、いろいろなことにカルチャーショックを受けながら、自己の世界を広げていくこととなります。

「見る」「聞く」「知る」の体験として、(一)米国全土ですすんでいる肥満、心疾患などの背景に食生活の問題点があることを実地で体験学習し、米国の栄養問題を把握することによって、我が国の栄養問題に対する気づきや関心を高めます。(二)米国の食生活上の問題点は、便利な車社会をつくりあげた大量生産、大量加工、大量流通、大量消費を背景とした日常生活の

現地の人が選択する食品にはどのようなものが多いのか、どれだけ大規模で販売しているのか、自己責任が問われる大量販売の市場を、④大規模食サービス…どのような調理品を、どれだけの量、選択・摂取しているのかを視察、⑤街中を自由散策し、肥満者が多く一方で、体重管理をしっかりと

(四)大学の給食施設、一日の食数が多い美術館の食堂の運営方針や食事サービスの話を聞き、様々な国の出身者と一緒に食事をし、食事に対する考え方、料理の選び方などに興味津々となります。管理栄養士という資格をキープワードとして、食にかかわる施設で働く人々の姿とおおらかな人間

性、米国の雄大な自然と風土・文化に触れることで、学生たちの心に自我が目覚めます。短期間ではありますが、現地関係者、大学関係者の方々のサポートにより、密度の濃い時間を過ごし、学生は、英語力があればよかったとの悔しさがあるものの満足感一杯の笑顔で帰国します。この研修旅行は、学生たちの将来に良い影響を与えていることは確かなようです。さて話は変わりますが、筆者が副会長を務める日本食生活学会(https://jshs.jp)について、この紙面を借りて紹介させていただきます。日本食生活学会は様々な角度から食、栄養、生活を俯瞰的に考えることができる学会です。創立三十周年を超えるさらなる発展をめざしています。多くの方々に参加いただき躍動感あふれるものになることを期待しています。

(聖徳大学教授・日本食生活学会副会長)

成人言語聴覚療法ハンドブック

森田秋子・内山量史 編著
多様化するニーズに応え、現場で必要な臨床実践力を身につける。臨床場面での活用はもとより言語聴覚士の人材育成にも。

B5判/144頁 3080円

能登谷晶子・諏訪美幸 編著 症例から学ぶ子どもの構音障害

言語聴覚士養成校、若手実務者、ことばの教室の教員向けに、症例を提示しながら評価・訓練の進め方について、経過をわかりやすく提示。

B5判/208頁 3410円

改訂 スタイ応用栄養学(第2版) 東條仁美 編著 B5 232頁 3190円

改訂 応用栄養学実習書(第2版) 柳沢幸江・松井幾子 編著 B5 192頁 2640円

四訂 応用栄養学実習書(第2版) 五関正江・小林三智子 編著 B5 216頁 3080円

三訂 臨床栄養学実習 桑原節子・永井 徹 編著 B5 128頁 2200円

三訂 臨床栄養学実習 中村富子・植田福裕 編著 B5 136頁 2310円

改訂 給食経営管理論実習 石田裕美 編著 B5 164頁 2640円

改訂 臨地・校外実習 加藤昌彦・塚原丘美 編著 B5 112頁 2090円

五訂 臨地実習ガイドブック 前田佳子・岸本三香子 編著 A4 128頁 2750円

四訂 栄養教諭論(第2版) 金田雅代 編著 B5 224頁 3080円

四訂 フードスペシャリスト論(第7版) スペシャリスト協会 編 A5 208頁 2200円

食物学Ⅱ(第2版) 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 240頁 2420円

三訂 食品の安全性(第3版) 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 216頁 2310円

2022年版(2017〜2021年度実施分) 全国栄養士養成施設協会 編

栄養士実力認定試験過去問題集 A4判/96頁(別冊解答・解説5年分付) 定価1210円

フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 日本フードスペシャリスト協会 編 A4判/100頁(別冊解答・解説5年分付) 定価1320円

なぜからはじめる教育原理(第3版) 池田隆英 楠本恭之 編著 B5 160頁 2200円

啓はじめて学ぶ社会福祉(第2版) 松本峰雄 小野澤昇 編著 A5 200頁 2200円

子どもの食と栄養演習(第6版) 小川雄二 編著 B5 232頁 2970円

福祉ライブラリ 都築光一 編著 A5 240頁 2750円

現代の地域福祉(第2版) 都築光一 編著 A5 240頁 2750円

新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療秘書教育全国協議会 編 B5 136頁 2310円

三訂 医療用語 井上肇 瀧本美也 共著 B5 136頁 2310円

ニュージールランド乳幼児教育カリキュラム「テ・ファア・リキ」(英語版) 本邦初の完全翻訳・解説を付す。解説編では、テ・ファア・リキに表される子ども観、保護者の責任と役割、ラーニングストーリーについて丁寧に読み解いていく。 B5判/144頁・カラー口絵8頁 2420円

テ・ファア・リキ(完全翻訳・解説) 大橋節子・中原朋生・内田伸子・上田敏文 監訳・編著 B5判/144頁・カラー口絵8頁 2420円

神代典子 訳

保育分野での ソーシャルワーク

園田 巖

近年、社会環境の変化により、保育施設および保育者が果たすべき役割の範囲は拡大・深化しているとの印象がある。かなり以前の保育所では、その役割として就労支援のイメージが先行し、「働く親の味方」といった印象が強かった。

ところが、核家族の進行や地域社会の変貌など、子育て家庭を取り巻く環境の大きな変化に伴い、地域社会に内在する保育ニーズは多様化することとなった。そして、その変化に呼応するように、教育・保育の場面では、個別のかつめ細やかな対応を求められるようになったのである。

具体的には、発達障害や

てくる。この点について、保育所保育指針解説（厚生労働省、二〇一八年）には、「保育所における子育て家庭への支援は、このような地域において子どもや子育て家庭に関するソーシャルワークの中核を担う機関と、必要に応じて連携をとりながら行われるものである。そのため、ソーシャルワークの基本的な姿勢や知識、技術等についても理解を深めた上で、支援を展開していくのが望ましい」とある。

ことに、児童虐待や精神的課題を抱えた保護者への対応等の困難事例にあつては、ほかの専門機関や専門職との連携が必須であり、その必然としてソーシャルワークの視点が要求される。ただし、ここでいう連携とは、単なる情報の提供や共有をさすのではなく、課題解決に向けての専門職としての関与である。

この役割を効果的に果たすためには、ソーシャルワークの視点が必要となつ

近ごろ保健医療福祉分野では、多職種連携（IPW・inter professional work）の重要性が叫ばれているが、保育分野でも同様と考えられる。

地域社会に内在する多様な保育ニーズや困難課題に

今こそ、学校現場に 「折れない心」の育成を！ ―「心の教育」の視点から―

住本 克彦

「生き抜く力」、「やり抜く力」、「折れない心」等、いま、教育現場での「心の教育」の実践において、「折れない心」をいかに育

筆者は長く生徒指導、教育相談にかかわり、「心の教育」に関する研究も重ね

識や技能を理解した保育者が課題解決プロセスに参画しながら、適切に関与する必要性があるのではないだろうか。

その一方で、保育士の業務の中心は日常のケアワークであり、保護者支援や地域の子育て家庭に対する支援などは日常業務と並行しながら実施しなければなら

てきた。そのような中で「折れない心」の育成には、次の十項目が大きく影響していると考えている。

（一）揺るぎない自信をもっている…揺るぎない自信をもった人は、外からの衝撃にも強い。教師自身がこの揺るぎない自信をもつ

必要である。

三、絶対値の活用には限界がある
頻度調査法はそもそも疫学研究の集団の中で摂取量の順位づけをし、健康アウトカムとの関連を調べるためのツールである。FFQ

Qで推定された摂取量を補正しているが、絶対値として扱うことには慎重を要する。活用目的をよく吟味し、適宜ほかの方法を選択することも、科学性の裏づけにおいて重要である。

四、項目を変えたら妥当性も変わり得る

頻度や食品項目をカスタマイズすると、頻度の分布などが変わってしまうため、妥当性を再検討する必要がある。変更する際は慎重な検討が必要である。

これらの留意点を栄養疫学の基礎知識としてもつことで、FFQのより有効な活用役役立つこと

（麻布大学教授

食物摂取頻度調査票の有効活用術

石原 淳子

FFQ NEXTおよびFFQに

一、質問票の妥当性が担保されて

いるのではない

食事を包括的に把握できるFFQであったとしても、その時点で算出が可能な食品群や栄養素などのみに

用いたFFQをもとにつくられて

は、早くからFFQによる摂取量

推定妥当性研究に着手してきたた

め、エビデンスに裏づけられた科

される。当然、算出できていない

栄養素の妥当性は保証されず、論文に妥当性について記載する際は

「妥当性が検証されている質問票

を用いて算出された〇〇（食品群や

うか

例えばJPHC NEXT研究

のFFQ妥当性研究対象は、国内

五地域在住の四十〜七十四歳の男

女二四〇名。年齢が中高年に限ら

れるため、摂取量推定が若年層に

応用できるかどうかの妥当性は課

ない実践もある。

したがって、保育ソーシャルワークの概念に

「保育施設において保育士が行う日々のケアワーク

の中には、ソーシャルワークの一部要素が不可分に内

包されている」という整理をした方が、より実態に即していると考えられる。

（東京都大学准教授）

て児童生徒に向き合うと、その言動には説得力が生まれる。（二）揺るぎない自信

をもっている人をイメージできる…揺るぎない自信をもっている人を具体的にイ

メージできると、自分で心から納得でき、「自分の思いを大切にやってきたのだから、何とかなるさ」と楽観視することもできる。

（三）勝ち負けにこだわらない…「勝ち」ももちろん尊いいことではあるが、「折れない心」をもつためには、「二等賞より尊いビリだつて

である」ということを実感できることが大切である。（四）プラス思考で物事をとらえることができる…

プラス思考というのは、何事においても、よい方向に考えが向くことである。この思考を育てるには、リフ

レーミング技法が効果的である。（五）いまの自分が好きである（自尊感情）…自尊感情とは、「いまの自分が好き」と実感できることである。その要素として

ロールができる人は、自身自身のいまの感情をうまく表現できる。自身の感情の現況がわかれば、その対処法も明確になる。（七）受け止めてくれる人をもっている…自分を受け止めてくれる人、信じていることができる人をもっていることである。「あの人に話を聞いてもらったら元気になる」という自分自身にとつてのキーパーソンがいるかどうかである。（八）中立を保ち、自己防衛ができてい

る…他人にむやみに迎合せず、中立を保てるということ。次に、自己防衛ができており、自分自身の限界も

しっかりと把握できている。（九）完璧をめざしすぎない…完璧を求めれば求めるほど、完璧ではない自分のことが嫌になつてくる。自分自身の不完全さを受容すること

で、心は安定し、いまの自分自身を受け入れることができる。（十）没頭できるもの（趣味など）がある…心が折れない人は、心のエネルギーを十分にもっている。この心のエネルギーを満たすには、既述したように、受け止めてくれる人をもつことと、好きなこと（趣味）に没頭できるものをもつことである。

現況のコロナ禍も踏まえ、一層の「折れない心」の育成が求められる。その際、まずは教師自身がこの「折れない心」をもっていることが重要な要素となることを付記し、本稿を閉じたい。

（奈良学園大学教授

ることができる…感情のコントロールができる

教科書ご採用検討のための見本が入用でしたらご請求下さい。

芳名・ご住所・学校名・科目名を明記の上、ハガキでお申込み下さい。（ご採用見本は教科書のみです）

当社HPからも見本請求いただけます。

ご勤務先・ご所属等が変更されましたら、当社までお知らせ下さい。なお、ご自宅の住所をご教示頂けましたら、本紙「土筆」を「ご自宅宛にお送り致します。

tku@kenpashin.co.jp（個人情報厳密に管理致します）

エクセル栄養君が新しく生まれ変わりました Excelアドイン 栄養プラス®

税込定価 28600円 対応

日本食品標準成分表2020年版（八訂）
日本人の食事摂取基準（2020年版）

・エクセル上で直感的に操作できる高機能栄養計算ソフト
・八訂成分表における推奨されたエネルギー等の計算に対応
・成分表等の正誤表にもすぐに対応可能

「栄養プラス」オプションソフト

食物摂取頻度調査票FFQ NEXT

著作 国立がん研究センター 監修 石原淳子・高地リベカ
・次世代多目的コホート研究（JPHC NEXT）にて開発された調査票をソフト化。
・紙媒体、Web回答フォーム、エクセルシートなど、多様な方法で回答収集が可能。

栄 養 疫 学（仮） 栗木清典 編著 B5 176頁 2860円

Nブックス スポーツ栄養学 I 高田 和子 編著 B5 184頁 2640円

Nブックス 新版改訂 食品学 I 青柳康夫・齋藤昌義 編著 B5 248頁 3190円

食 文 化 論（仮） 小川聖子・野林厚志 編著 B5 160頁 2420円

三訂 新しい家族関係学 長津美代子・小澤千穂子 編著 A5 224頁 2530円

教 職 入 門（仮） 住本克彦 編著 B5 144頁 2310円

特別の支援が必要な子どもの理解 細瀬富夫・大江政賢 編著 A5 192頁 2200円

なぜからはじめる カリキュラム論 中原昭生・池田隆英 編著 B5 144頁 2200円

子ども中心の理解と援助 シッドブック 飯島典子・本郷一夫 編著 A5 160頁 1980円

子ども中心の実践に学ぶ 保育内容総論 清水陽子・新井美保子 編著 B5 128頁 2090円

幼児教育・保育計画総論 戸田雅美・西本 望 編著 A5 176頁 2090円

改訂生活支援のための調理実習 田崎裕美・百田裕子 編著 B5 144頁 2310円

新 医療秘書医学シリーズ 医療秘書教育全国協議会 編

シリーズ刷新!! 各巻B5判 9月刊行

①改訂 医療概論 井上肇・責任編集 共著 B5 136頁 2420円

②改訂 基礎医学 井上肇・責任編集 共著 B5 152頁 2530円

③改訂 臨床医学Ⅰー内科 井上肇 著 B5 128頁 2310円

④改訂 臨床医学Ⅱー外科 井上肇 著 B5 136頁 2420円

⑤改訂 検査・薬理学 井上肇・責任編集 共著 B5 176頁 2640円

医事コンピュータ技能検定テキスト 三訂 医事コンピュータ関連知識 医療秘書教育全国協議会 編 共著 B5 168頁 2750円